

【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
予定していた事業は順調に実施されたが観光客数の増加には繋がっていない。引き続き観光協会とともに事業内容の検討を行う。	町産業の振興を目的とした観光事業を推進するために、新たに寒川町、観光協会、商工会の三者で構成する寒川町観光事業検討協議会を設置し、既存事業の在り方の検証や新規イベントなどについて検討を加えることとした。その結果、費用対効果の面から産業振興への寄与が低いと見られる花火大会の実施を平成20年度は見送ることとし、商業者が実施する「ふるさと祭り」との共催で小規模花火を実施することで商業振興に直接寄与することとした。

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか 町が主体となって実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	観光振興の総合的推進を図るため収穫ウォーク、写真コンクール等の事業を実施し、観光パンフレットの作成等で県内・外誘客PRを行っている町観光協会は、自己財源が乏しいところから補助が必要である。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況)	<input type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	町観光協会は町からの補助金を有効に活用し予定事業を進めているが、観光客誘致増加には結びついていない。
効率性	事業費に無駄はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	町観光協会は補助金を効率的に事業運用し、コスト削減を行っている。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	町産業の振興に繋がる集客力の上がる、魅力ある観光事業の検討、新たな観光資源の発掘。	寒川神社などの歴史・文化資源や、花卉・果物等の農産物、わいわい市の有効活用等の検討を促す。	寒川神社などの歴史・文化資源や、花卉・果物等の農産物、わいわい市の有効活用等の検討を促す。
効率性			

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	観光振興対策事業に関する補助金額は、町観光事業検討協議会などの検討、研究結果を尊重し各年度見直し設定していきたい。現時点での設定は妥当である。
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	町の産業振興に繋がるものとして観光客数は設定どおり増加させていきたい。
事務事業の方向性	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	昨年度設置した寒川町観光事業検討協議会を最大限活用し、商業、農業等町産業振興に繋がる事業の在り方、資源の発掘を進めたい。また、その結果を担保するために全体構想とプログラムを作成したい。

部長確認	須藤 武	確認日	2008/10/15
------	------	-----	------------